

事業効果の発現状況

基幹事業(河川)

A1-2 (二)瀬戸川(焼津市中港)

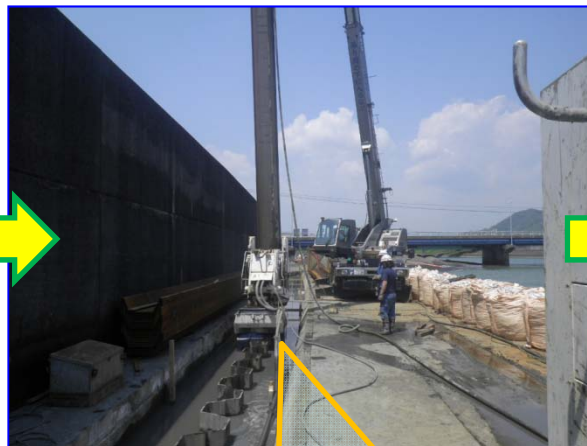
液状化により堤防沈下の恐れがあった(二)瀬戸川において、堤防の液状化対策を実施することにより、地震による堤防の沈下を防ぎ、地震後に来襲する津波から背後の市街地を守ることができるようになり、瀬戸川周辺の津波に対する安全度が向上しました。

(二)瀬戸川(焼津市中港)

着手前



施工中



完成後



鋼矢板を地中に連続して打ち込むことで、堤防を強化

いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

事業効果の発現状況

基幹事業(河川)

A1-18 (二) 竜今寺川(掛川市浜野)

(二) 竜今寺川は現在の堤防の嵩上げを行うことで、津波による浸水被害を防ぎ、堤防背後の住宅や農地を守ることができるようになり、竜今寺川周辺の津波に対する安全度が向上しました。

(二) 竜今寺川(掛川市浜野)

着手前



完成後



いっしょに、未来の地域づくり。New Public Engineering for SHIZUOKA

静岡県交通基盤部

事業効果の発現状況

基幹事業(河川)

A1-2 (二)石脇川(焼津市岡当目)

(二)石脇川放水路と(二)瀬戸川の合流点に位置する石脇川新水門において、レベル2地震動に対する耐震対策を実施したことにより、想定される南海トラフ巨大地震等の地震時にも、水門の正常な機能が確保されたため、周辺地域の津波に対する安全度が向上しました。

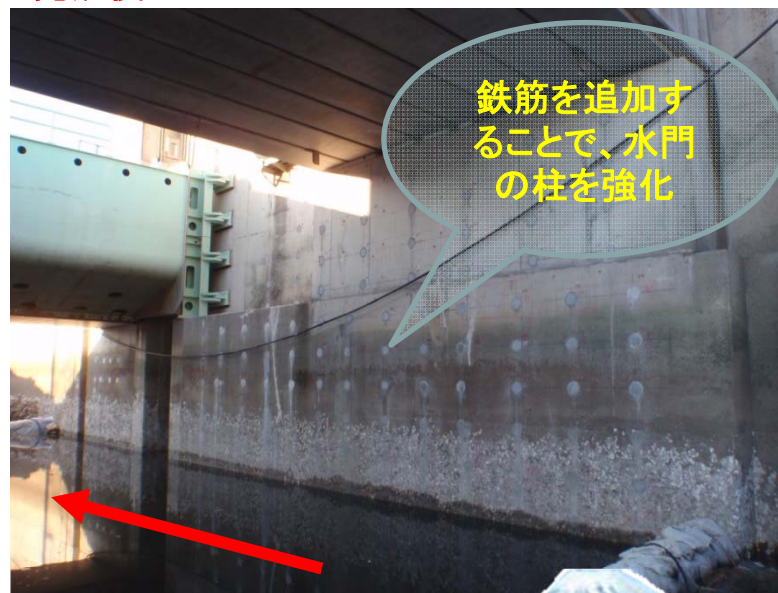
(二)石脇川 石脇川新水門(焼津市岡当目)

着手前



補強前

完成後



補強後